



支えあい！ これこそ安全安心の原点！ ～地域の垣根を越えた防災活動～

神奈川県 佐江戸・加賀原支えあい連絡会
会長 岩嶋 伸幸



1 はじめに

佐江戸・加賀原支えあい連絡会（以下「支えあい連絡会」）がある佐江戸加賀原地区は、神奈川県横浜市都筑区の南西部に位置し、佐江戸町・加賀原一丁目・二丁目の「3つの地区」に、「7つの自治会町内会」から佐江戸加賀原地区連合自治会が形成されています。

支えあい連絡会は、日常生活圏域内において、保健・医療・福祉の関係者や地域で福祉保健活動などを行っている人たちが連携し一体的なサービスができるよう平成13年3月に加賀原地域ケアプラザを事務局としてスタートしました。構成メンバーは地域活動に深く関わりのある42の団体で構成されており、誰もが住み慣れた地域で安心して生活が送れるような地域づくりの活動を続けています。

2 地域にあった課題の抽出

支えあい連絡会の「定例会」に加え、地域のニーズや課題解決のため、定例会参加団体以外の方も広く出席する「地域懇談会」を開催しています。

定例会では、地域に関することについて幅広く情報共有、意見交換が行われておりますが、昨今の集中豪雨・土砂崩れや大規模地震の発災等を踏まえ、防災に関連した話合いが増加しております。各団体からの、課題等を取り上げ、それぞれの思いを団体の垣根を越えて共有し、この地域の課題を見つけ出しています。

地域懇談会では、地域住民にも広く参

加を呼びかけ、より住民目線に立ち、定例会で出た課題を解決に向け、研修・グループワーキング等の様々な取り組みを実施しています。



地域懇談会グループワーキング

3 垣根を越えた参加型の取り組み

平成29年以降、防災に関する全6弾の取り組みを全12回に行ってきました。

第1弾 我が街の「地域防災」の取組を知る！

第2弾 要援護者の「防災」を考える！

第3弾 消防団の力で「地域防災力」を高める！

第4弾 防災の基礎力向上！「風水害を」学び・備える！

第5弾 ジレンマ場面で学べ！災害対応クロスロードゲーム

第6弾 地域防災力の輪を広げる！

課題を洗い出し「見える化」にする各取り組み、最初に事前アンケートの実施や、該当団体からの現況、活動内容等を発表し現状把握を行いました。次に、課題についてグループワーキング、意見交換会、自治会毎の取り組み等を発表、共有し、団体の垣根を越えて「見える化」



課題を洗い出し「見える化」にする



クロスロードゲーム「あなたならどうする？」

しました。各団体が抱える難しさや悩みを共有することで、今後の喫緊に対応すべきことを明確にし、検討事項を各団体に持ち帰り、半年後、1年後に再度集まり検討して今後の取り組みや方向性につなげました。

災害対応クロスロードゲームでは、設問を参加者が地域特性を考慮して作成し、実施者は、自分達に置換えて「考え、学べ」人によって感じ方が違うことに気付き、効果の高い取り組みになりました。その他、区防災担当を呼んでの研修会を実施し基礎的知識を深め、より現実的な対策を考える機会になりました。

4 おわりに

顔を合わせて話し合い、良い取り組み

を共有、意見交換を行うことで、様々なものが「見える化」し違う立場で感じることや知恵を絞ることでトータルの防災意識が高まりました。

課題解決の一步として、消防団員の増員達成、事業所や福祉施設等の間では「災害時の協力に関する協定書」等を多く締結することができました。さらに、各団体が協力し災害時の連携活動の構築に向け取り組んでいます。

色々な人たちを巻き込み、地域に合った課題を、地域の人で話し合い、地域で協力して取り組み、地域に関わる団体が垣根を越えて支えあうことが安全安心の原点であります。取り組みを通じて様々な団体が顔の見える関係をつくり、解決へ向けて取り組むことが自助・共助の基盤です。今回の防災まちづくり大賞受賞は、今後の地域防災へ向けた大きなステップアップと捉えています。支えあい、みんなの活動をつなげ、地域の垣根を越えた防災活動に取り組めます。



新しく加入した消防団員